



2024年(令和6年)

8月29日
木曜日

発行所
中部経済新聞社
〒450-8561
名古屋市中村区
名駅4-4-10

編集部 052(561)5212
 販売部 052(561)5216
 広告部 052(561)5213
 事業部 052(561)5675
 総務部 052(561)5215

経営研究会の定時総会開く

TACT高井法博会計事務所

【岐阜】TACT高井法博会計事務所(本社岐阜市)は28日、岐阜グランドホテルで第44期TACT経営研究会の定時総会を開き、来賓や会員ら約270人が参加した。(2面参照)

同事務所はTACT経営研究会を運営し、毎月の勉強会を設けるなど会員企業の経営を支援している。冒頭、経営研究会の会長を



高井代表社員・会長から表彰を受ける長谷川社長(右)

務める河上宗勝氏(カワカミホールディングス社長)が

「高井会長の考え方は私の経営の原点。変化への対応力を会員の皆さまと共に学びたい」とあいさつ。第43期の事業報告や収支決算、44期の事業計画と収支予算案をそれぞれ報告、承認した。

また優れた会社経営や独自の取り組みなどを行った企業として、丸章工業(本所関市)の長谷川智広社長を優秀経営者敢闘賞に選んだ。総会後終了後、名古屋鉄道の高崎裕樹社長の記念講演会と、高井法博代表社員・会長との対談も設けた。

再開発は商業機能を重視

岐阜駅周辺について高崎名鉄社長

名古屋鉄道の高崎裕樹社長は28日、岐阜市内のホテルで開かれた講演会の中で、名鉄岐阜駅周辺で計画している再開発について

「商業施設は非常に重要である」と話し、商業機能を重視する考えを示した。開発スケジュールなど具体的な計画については「検討中」とした。商業機能の開発については、7月に設立した流通事業の中間持ち株会社の名鉄リテールホールディングス(本社名古屋)などで詳細を詰める方針だ。(6面に関連記事)

高崎社長は、名鉄岐阜駅周辺で進める再開発構想について、神田町街区、長住

町街区、清住町街区の3街区を「順次連携しながら開発していきたい」とした。

再開発における商業機能について「周辺どのまちづくりとして、長期的にエリア全体の価値を向上させていく考え方に立てば、路面に商業がない開発をするというのは、絶対にならない」と強調。「名鉄グループの中でも新しい商業というものを築いていくため、名鉄リテールホールディングスを

立ち上げた。(名鉄岐阜駅周辺再開発でも)商業はどういったものがふさわしいのかを考えていく」と話し、「長期的にエリア全体がよくなる開発を進めてまいりたい」と意気込んだ。



講演会で名鉄岐阜駅周辺の再開発構想を語った名鉄の高崎社長(岐阜市内のホテルで)